



箕面都市開発株式会社

平成28年度 平成29年度

決 算 ・ 予 算

〔速報版〕

平成29年6月

箕面都市開発株式会社

平成28年度決算の概要

1 平成28年度予算と決算を比較すると

- 予算編成時及び上半期決算時の見通しに比べ、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益とも、**予算を大きく上回り、経営は順調**です。

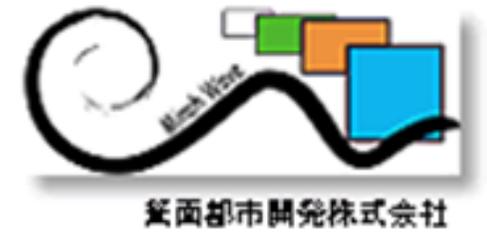
2 調停条項と比較すると

- 期末資金残高について、**調停条項の想定推移を大きく上回りました**。
- 純資産額については、平成24年度に債務超過を解消し、繰延税金資産^(※1)を除いても、**大幅に増加**しています。
- いずれの利益ベース(営業利益・経常利益・当期純利益)においても、**調停条項を大幅に上回りました**。

(※1):繰延税金資産とは…将来の会計期間に帰属すべき税金費用(損金)を当期に前払いしたと考え、これを繰り延べ処理することにより生じる資産のことをいいます。

3 今後の展望

- いずれの利益ベースにおいても、調停条項や平成28年度予算に比べ大幅に上回る順調な経営となっています。これは、駐車場賃貸事業における稼働率が高水準で推移したことなどが主な要因です。
- 引き続き、**キャッシュフロー安定化のための経営努力**を行います。



平成28年度

決算

1. 平成28年度決算

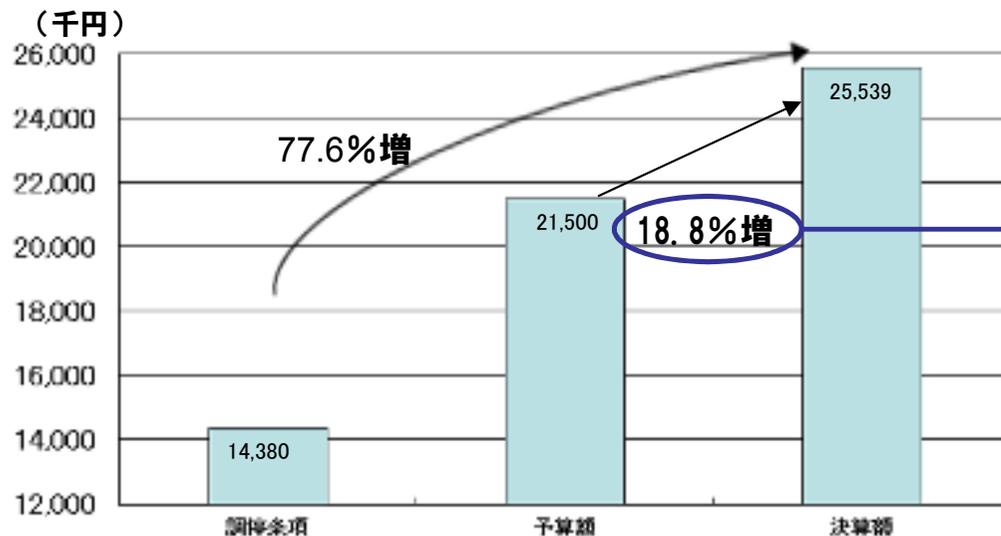
(単位:千円・%)

	平成28年度実績			平成28年度決算の比較			
	調停条項	予算額	決算額	予算との比較		調停条項との比較	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	106,880	128,000	129,836	1,836	1.4	22,956	21.5
営業利益	14,380	21,500	25,539	4,039	18.8	11,159	77.6
経常利益	12,559	19,540	23,303	3,763	19.3	10,744	85.5
当期純利益(※)	6,149	10,559	13,203	2,644	25.0	7,054	114.7
期末資金残高	85,879	105,698	105,693	▲5	▲0.0	19,814	23.1
純資産額	21,939	41,010	43,654	2,644	6.4	21,715	99.0

(※)法人税等調整額を除いています。

法人税等調整額とは…税務上の益金、損金で算定される課税所得と企業会計上の収益、費用で算定される利益との差額を調整する会計処理のことをいいます。

2. 営業利益（本業利益）の比較



決算においては、すべての項目において、調停条項を大幅に上回りました。

要因

駐車場賃貸事業の手数料の増加や文化交流センターの売上も好調であったことが大きな要因です。

3.貸借対照表

(単位:千円・%)

	平成27年度		平成28年度		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
資産合計	524,386	100.0	525,346	100.0	960
流動資産	109,597	20.9	115,087	21.9	5,490
固定資産	414,789	79.1	410,259	78.1	▲4,530
有形固定資産	375,707	90.6	375,693	91.6	▲14
無形固定資産	296	0.1	296	0.1	0
投資その他の資産	38,786	9.3	34,270	8.3	▲4,516
負債合計	464,004	88.5	456,278	86.9	▲7,726
流動負債	29,241	6.3	29,593	6.5	352
固定負債	434,763	93.7	426,685	93.5	▲8,078
純資産	60,382	11.5	69,068	13.1	8,686
純資産(繰延税金資産除く)	30,451	—	43,654	—	13,203

平成28年度の業績が好調だったため、**流動資産が増加**しました。

弁済計画に基づき、平成28年度分を箕面市へ返済したため、**固定負債が減少**しました。

参考1：経営内容を判断するポイント

■会社の経営状況は期間損益の状況を見るだけでなく、資金計画を見ることで経営状況を判断できます。

★調停条項の着実な履行を判断するポイント

- ① 期末にどれだけの資金残高があるのか
- ② 純資産額(貸借対照表の資産合計－負債合計)による判断

.....➔ **資金計画で判断することが適切**

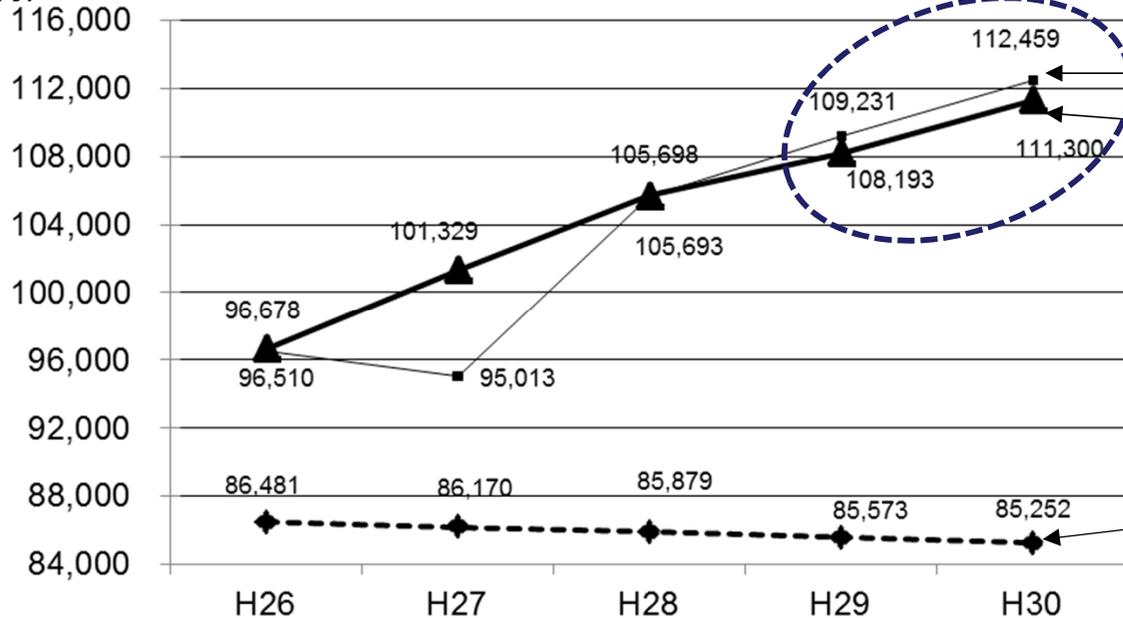
参考2：資金計画の見込み

(1) 期末資金残高の推移

(単位:千円)

	各年度の予算・決算実績			平成28年度からの予測	
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
調停条項	86,481	86,170	85,879	85,573	85,252
予算ベース	96,510	95,013	105,698	109,231	112,459
決算ベース	96,678	101,329	105,693	108,193	111,300

(千円)



予算ベース
決算ベース

箕面駅前駐車場・駐輪場の稼働に伴う設備投資(自動ドア)を行ったため、予算ベースを若干下回るものの、調停条項の想定推移は大幅に上回る予定です。

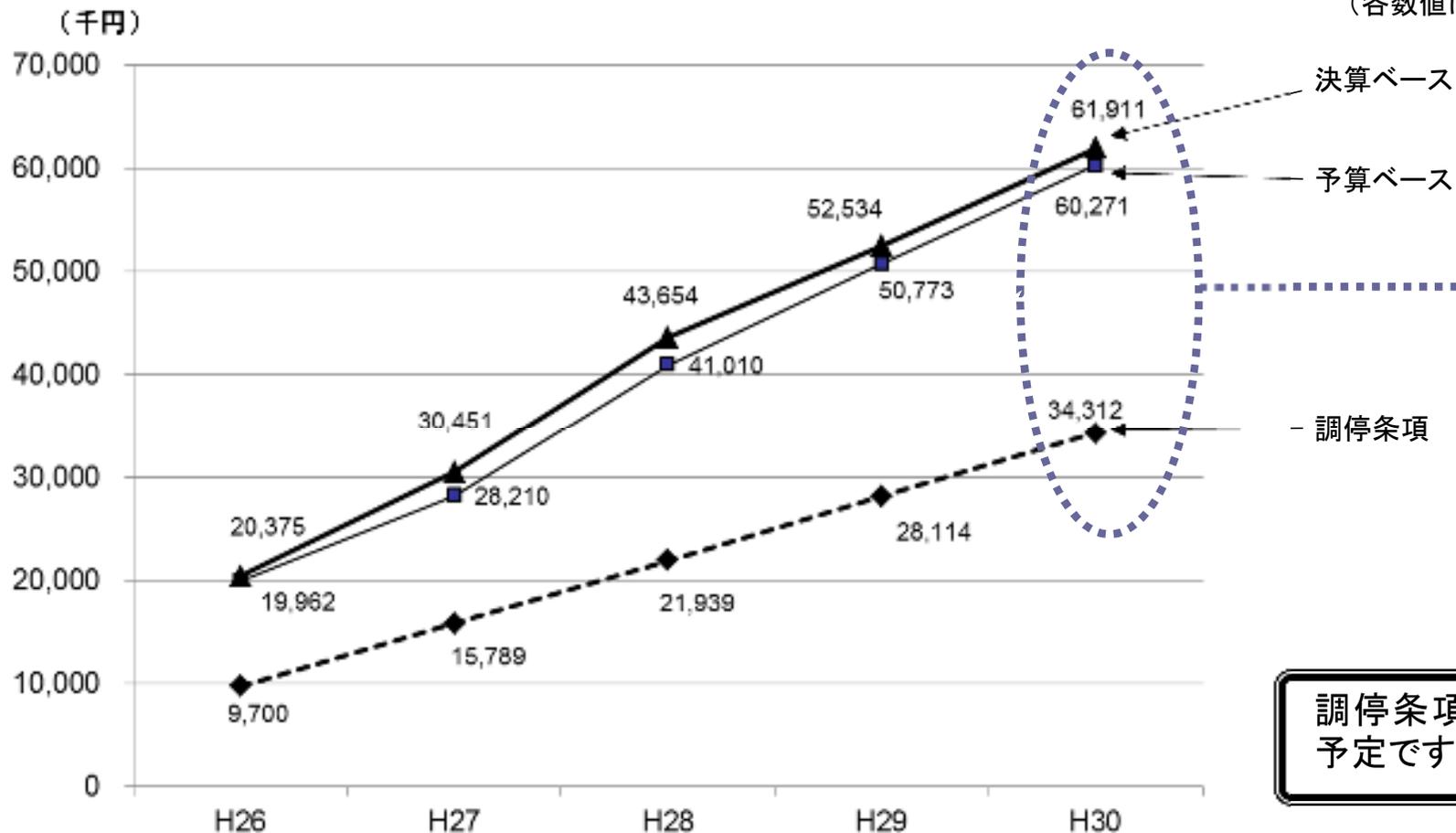
調停条項

(2) 純資産額の推移

(単位:千円)

	各年度の予算・決算実績			平成28年度からの予測	
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
調停条項	9,700	15,789	21,939	28,114	34,312
予算ベース	19,962	28,210	41,010	50,773	60,271
決算ベース	20,375	30,451	43,654	52,534	61,911

(各数値は繰延税金資産を除いています)



調停条項の想定推移を大幅に上回る
予定です。



平成29年度

予 算

1. 平成29年度予算と調停条項

(単位:千円・%)

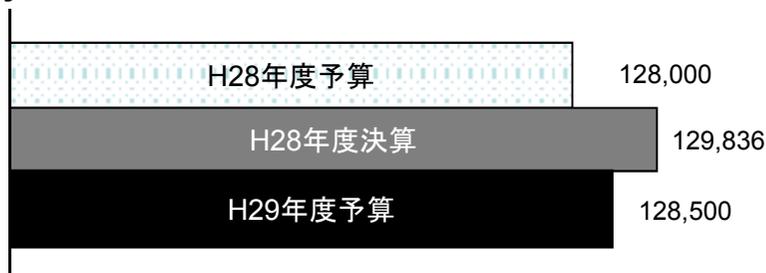
	調停条項 (平成30年3月期)		平成28年度 予算		平成29年度 予算		平成29年度予算の比較	
	金額	売上高 利益率	金額	売上高 利益率	金額	売上高 利益率	調停条項との 増減率	平成28年度 予算との増減率
売上高	106,880	—	128,000	—	128,500	—	20.2	0.4
受託料収入	64,647	—	79,380	—	79,723	—	23.3	0.4
所有床賃貸収入	6,907	—	8,971	—	8,551	—	23.8	▲4.7
土地賃貸収入	23,640	—	22,129	—	22,776	—	▲3.7	2.9
受取手数料収入	2,296	—	2,620	—	2,500	—	8.9	▲4.6
文化・交流C売上	9,390	—	14,900	—	14,950	—	59.2	0.3
営業利益	14,380	13.5	21,500	16.8	18,000	14.0	25.2	▲16.3
経常利益	12,599	11.8	19,540	15.3	16,064	12.5	27.5	▲17.8
当期純利益	—	—	—	—	—	—	—	—
当期純利益 (法人税等調整額除く)	6,175	5.8	10,559	8.2	8,880	6.9	43.8	▲15.9

2. 売上高・利益ベースの推移

- ・平成28年度決算において、各利益ベースとも平成28年度予算を上回りました。
- ・平成29年度予算において、平成28年度決算と比較すると、売上高、営業利益、経常利益・当期純利益ともに下回る予定です。不動産取得による諸費用の発生が主な要因です。
- ・これにより一時的に減収・減益となるものの、経営内容の判断指標である期末資金残高や純資産額は、順調に推移する予定です。(6・7頁参照)

■売上高

(単位:千円)



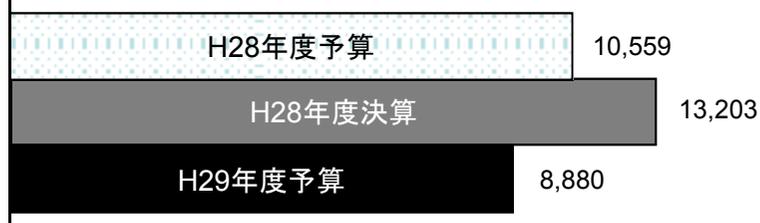
■営業利益



■経常利益



■当期純利益



H28予算とH29予算の比較・主な要因

前年比0.4%増

● 昨年とほぼ同額

前年比16.3%減

● 資産増加にかかる諸費用発生による減益

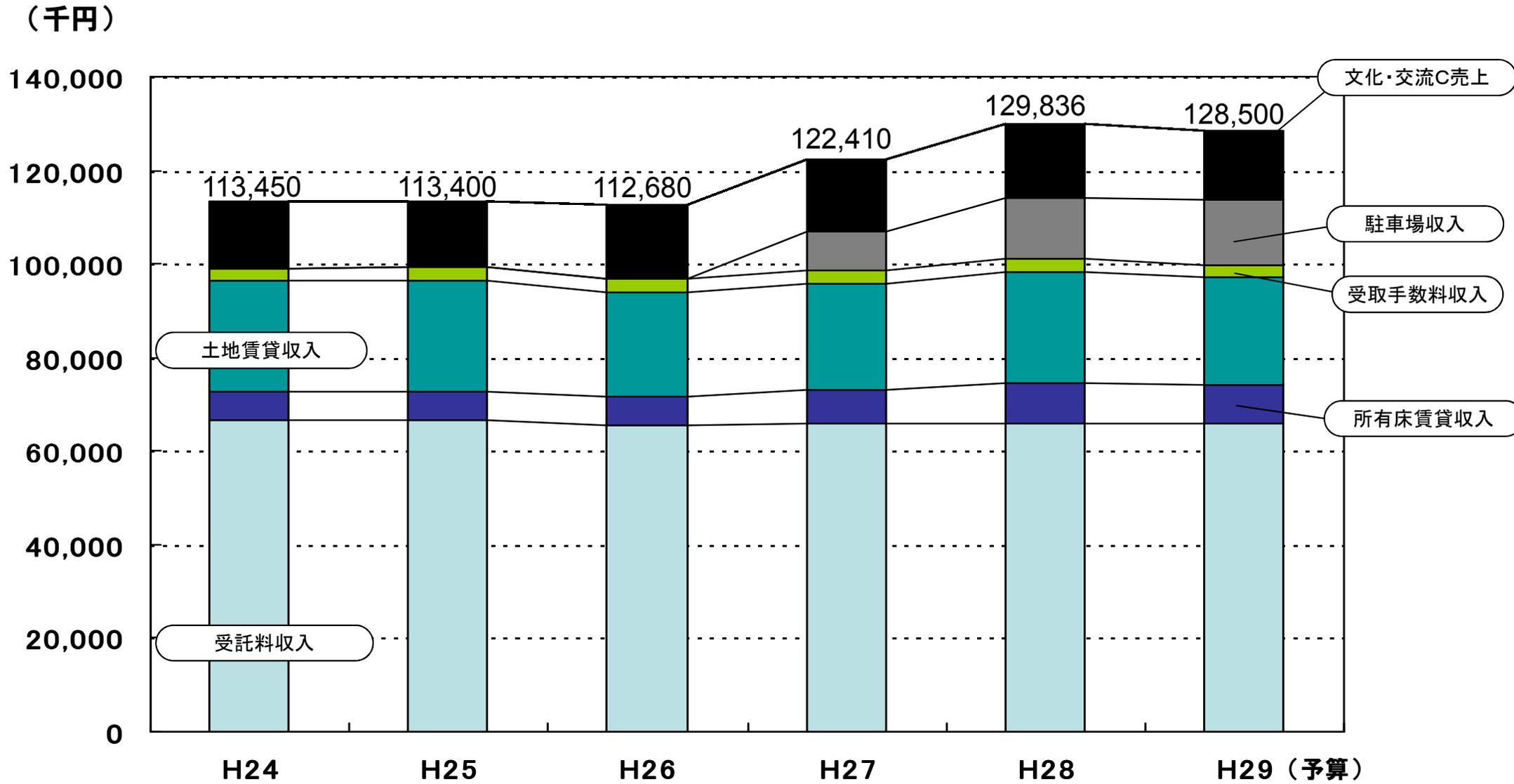
前年比17.8%減

● 営業利益の減益による

前年比15.9%減

● 経常利益の減益による

参考1：事業別売上高の推移



参考2：売上高増減の主な要因

